

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N07以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
1	下方地区	奄美市の振興策について	雇用場所確保のため企業の誘致を行うことができないか。 農業振興対策が行えないか。 スーパー林道の全面舗装や金作原への知名瀬ルート整備ができないか。	（市長） 企業誘致については大事なテーマであると考えます。誘致に関して全国的にもそうですが、労働力不足が最大の課題となっているところであり、他の本土の自治体は地の利もあるところですので、奄美市としては少ない従業員の数でも操業できる情報通信関連企業の誘致に力を入れているところです。今年度においても2社と企業立地協定を結ばせていただいて、更に事業拡大に伴って情報処理専門学校とも連携し、地元雇用を増やす取組みも後押しさせていただいております。 農業について奄美に適した作物、コーヒー豆の栽培や笠利町で行われているバナラビーンズの栽培など、チャンスはあると思います。農地の売買や貸借に課題があると伺っておりますので、農地所有者に理解をいただけるように、取組みを進めてまいりたいと思います。スーパー林道につきまして、国立公園の特別保護地区という手のつけられない場所を通っている部分に関しては、舗装が難しいと考えております。状況に合わせて安全に使っていただけるような補修は可能と考えますので、市民や事業所、企業、ひいては市の税収が上がるように取り組んでまいりますので、今後ともご助言をいただければと思います。 （企画調整課長） 知名瀬林道に関して、大型バスなどが通ることによる路面のいたみなどがあり、補修などが必要な状態であると伺っております。そもそも林道が農業関係者向けに整備させていただいているものですので、今後のあり方を内部で検討させていただければと思います。	デジタル戦略課 農林水産課 世界自然遺産課	（デジタル戦略課） 本市では、情報通信関連事業者の誘致や育成を目的とした拠点施設「ICTプラザかさり」を運営し、関連事業者の支援を行っています。また、仕事と観光を同時に楽しんでもいただくワーケーション推進を通じて地域の魅力を発信するなど、企業誘致に繋がられるよう、引き続き取り組んでまいります。 （農林水産課） 知名瀬から金作原に至るまでの道路については「農道」及び「林道」であり、観光客の利便性向上を目的としたルート整備に関して、国・県の補助事業等は活用できません。農林道の整備を検討するにあたっては、当該区間の多くが国立公園区域であることなども踏まえ（道路幅の拡張等は困難）、今後、関係各課と協議することになると考えます。 （世界自然遺産課） 金作原は奄美大島内で数少ない世界自然遺産地域を散策できる観光地となっております。その金作原および金作原へ繋がる市道奄美中央線（旧スーパー林道）周辺は国立公園となっており、奄美大島を代表する多種多様な植物が自生しております。市道奄美中央線（旧スーパー林道）につきましては道路脇の植物の保護、周囲の景観との調和の観点から、舗装はせずに砂利入れや転圧などの補修作業を行っております。安全対策といたしまして、上記地域に観光で行く際には奄美の自然だけではなく周辺の道路事情にも詳しい認定ガイドの同行をお願いしており、また、路面の状況を鑑みて令和6年10月30日付で観光バスの利用禁止の通達を島内バス会社に通知をしております。
2	下方地区	農業用水について	週末は知名瀬の実家の農業を手伝っている。以前は、かぼちゃの栽培や牛の飼育などをしていたが、農業用水が一つもなく、大変である。 耕作放棄地が増えているのは水がないからではないかとも思っているが、農業用水の確保・整備を行ってほしい。	知名瀬・根瀬部については農業の一大拠点と考えますので、農業用水整備のための国の補助などもございますので、要件にあたるかどうか、所管課と共有をして知名瀬の農業従事者の意見も伺いながら検討してまいりたいと思います。	農林水産課	知名瀬地区の農地の一部においては、市が整備し、知根農水組合に譲渡したかんがい施設を利用し営農活動がなされております。ご要望をいただいた区域において、既存の施設からの利用も難しい場合は、補助事業を活用した整備が考えられます。補助事業を導入するためには、受益面積や対象となる農家戸数及び受益者の合意形成が採択の要件となっている場合があります。給水栓の設置や水利用に係る受益者の負担なども想定されますので、まずは地域や対象となる農業者間の意見集約が必要と考えます。また、水利施設の設置については、国立公園に隣接する地域でもあることから、設置位置や環境への影響について慎重に検討する必要があります。
3	下方地区	観光客の脱輪事故について	観光客が側溝にタイヤを落としているのを見かける。フタやグレーチングの設置など検討できないか。	以前から金作原ツアーについてはガイド同行でお願いしているところですが、浸透しきれていないこともあり、タイヤを溝に落とすなどの事案があるものと思います。道路の管理上、フタを付けていない状況と思いますが、頻発するようなら対策を考えないといけないと思います。今後とも集落の方の意見もいただきながら、検討してまいりたいと思います。	農林水産課	令和5年度に世界自然遺産課と連携して側溝用グレーチング（30枚）を購入し、ツアーガイド同行のもと、脱輪の危険性がある箇所へ設置をしています。
4	下方地区	雨の日の観光客等の過ごす場所について	民泊事業を実施しているが、海外からの観光客が多い。天気が良ければ青い海を見ていただくだけで満足感があるが、雨が多い地域でもあり、その際に紹介できる場所を探すのに苦慮している。屋内のテーマパークなど、子ども達のためにも全ての方が楽しめる場所を整備できないか。	以前から奄美の観光について言われているところですが、雨が多いことにより豊かな自然が育まれていることもあるため、共生することが大切かと思います。雨の日に訪れる施設について、奄美海洋展示館や住用の世界遺産センター、奄美博物館、奄美パークなど、以前よりは充実してきていると感じておりますが、商店街、アーケードなども含めて、更に検討してまいりたいと思います。また、子ども達が雨の日でも楽しめる施設も併せて検討してまいりたいと思っております。なお、ガイドさんによっては雨の日こそ観光客の方を案内したいとおっしゃる方もいらっしゃいますので、ご検討いただければと思います。	紬観光課 商工政策課 重点政策推進監	（紬観光課）（商工政策課）（重点政策推進監）補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N07以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
5	下方地区	子育て世代の居住について	東京から子どもを連れて移住してきた。知根小学校に入学する子がとても少ない。今年から特認校になって1名児童が通っているが、知根小学校が地域からなくなることを考えるととても寂しい。市営住宅に可能であれば子育て世帯を入居させることを検討していただきたい。	（市長） 全国的にもそうですが、奄美市でも急速に子どもの生まれる数が減っています。コロナ禍前は奄美市でも年間に400名ほど出生がありましたが、今年度は250名程度と聞いております。市としては、不妊治療への支援や子育て支援、移住定住支援、空き家の活用などもさせていただいておりますが、市営住宅については基本先着順としており、優先的に子育て世帯を入居させるなどの取り組みはしていないところです。今後、空き家の活用も含めて、知名瀬集落の皆さんと一緒に知恵を絞り、汗をかかせていただければと思います。 （企画調整課長） 奄美市でも人口減少については深刻に受け止めており、次期奄美市総合戦略の中で子育て世代の誘致を一つのテーマとして、取組みを進めて参りたいと思いますので、ご理解をお願い致します。	建築住宅課 プロジェクト推進課 企画調整課	（建築住宅課） 市営住宅は法律で定められる収入基準以下で、住宅に困窮している方なら入居申請が可能であるほか、根瀬部地区には中堅所得者向けの住宅もあります。いつでも建築住宅課にご相談ください。 （プロジェクト推進課）（企画調整課）補足なし
6	下方地区	道路周辺の整備について	坂元川の通りのガードレールが大分傷んでいるので改修をお願いしたい。樹木が生い茂った道路にノリが生えて転倒したことがあるので、改善してほしい。	場所を確認させていただき、安全確保を行わせていただきます。樹木の伐採についても所有者などの確認をさせていただき、安全に支障のないよう、対応させていただきます。	土木課	町内会長と連絡を取り11月28日に現場確認を行いました。
7	下方地区	知名瀬漁港の活用について	知名瀬漁港の利用促進のため、海のレストランをつくり、集落の発展に繋がらないか。	知名瀬港の利用促進につきましては、市において海のレストラン整備を行うことはございませんが、そのような計画をお持ちの事業者がいいらっしゃいましたらご相談下さるようお願いします。	土木課	
8	下方地区	バスの運行について	子どもが大島高校に通っている。朝、小宿第一公園前7：39発のバスに間に合う、知根からのバス運行ができないか。	コミュニティバスで運行している根瀬部線につきましては、令和6年10月の路線再編により、現在の運行時間となっています。コミュニティバスの運行時間の見直しにつきましては、地域実情や住民の皆様の意向も踏まえ、また、将来にわたる持続可能な運行体制も考慮しながら、引き続きバス事業者と協議して参ります。	商工政策課	